



04

通巻 第2708号
2015年7月24日発行

1960年創立
昭和35年2月5日



第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ
世界へのプレゼントになろう
2015-16年度IR会長
K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日 7月24日 金のプログラム

◎「骨髄バンク移植 3万例突破」
スピーカー：内山景一朗氏

●来週 7月31日 金のプログラム

◎納涼夜間例会
点鐘 18:00～ ニュー三幸 1階麦羊亭

●再来週 8月7日 金のプログラム

◎「小樽観光ガイドクラブの活動」
スピーカー：青塚和春氏

●第3回例会報告 7月17日 金 「時代物を楽しむためのミニ知識」 蜂谷 涼 様 ■司会 廣瀬副会長

■ロータリーソング ■ 「我等の生業」

■ゲスト、ビジターの紹介 ■

半田 善行氏 (小樽RC)
小樽潮まつり実行委員会の皆さま・ミス潮のお二人

■会長の時間 ■ 廣部会長

報告 3点ございます

1点目。ガバナー公式訪問の日程が変更になりました。9月3・4日に東京で開催される日韓親善会議に、嵯峨ガバナーが出席しなければならなくなり、当初の9月4日から9月25日に変更になりました。

2点目。7月12日(日曜日)、岩見沢での会員増強セミナーに、野村会員組織委員長と二人で参加してまいりました。講師は東京銀座RC、2750地区パストガバナーの市川伊三夫氏でした。お話のポイントは「自分のために会員増強を」でしたが、少々無理でも、納得させる説得力がございました。

3点目。第2回理事会にありました、FAX導入の件です。いままで歴代の幹事の皆様に、個人的にご負担をかけてまいりましたが、当クラブで専用の電話とFAXを取得することにいたしました。幸いにして、廣瀬副会長が個人で未使用のNTT電話回線をお持ちでしたので、その回線を無償で利用することにいたしました。NTTは、ひかり回線を利用して、税抜月額2,900円で、通話料金は、全国一律3分8円です。初回工事費は、20,800円の予定です。FAX機器は、リコージャパンと5年リース契約で、税抜月額6,000円程度を予定しています。会員皆様に一斉通信が可能で、メンバー変更についても、全てリコーが入力してくれます。また、私の年度が終わり、上野会長年度の時に、その幹事宅に移転する費用は、10,000円程度と聞いております。今後につきましては、当クラブ固有のものとなりますので、その年度の幹事宅に移動されて行かれたらと思います。以上、報告です。

■幹事報告 ■ 坂口幹事

7月31日開催の納涼夜間例会の出欠の回答を頂いていない会員がいらっしゃいますので、返信お願いいたします。また、小樽歯科医師会より新役員の挨拶状が届いております。当クラブの佐藤友美会員が福祉共済担当理事となっております。佐藤会員、各方面でのご活躍をご祈念申し上げます。最後に小樽潮祭りの参加申し込みお願いいたします。

■委員会同好会報告 ■

◎社会奉仕委員会 佐藤(公)委員長

7月13日9時30分、小樽駅前にて夏の交通安全運動を廣部会長、坂口幹事、板垣会員及び私とで行いました。ありがとうございました。潮祭りの参加お待ちしております。次回例会終了後に踊りの練習があります。今年は佐藤友美会員が師匠

となり、振り付けの指導をしていただけることになっております。

◎小樽RC 半田会員

・三クラブ合同の野球同好会の監督を仰せつかっておりますが、9月4日に前夜祭、9月5日に本大会があります。9時から試合開始です。今回の参加は、静内、滝川、岩見沢、赤平、小樽合同チームとなっております。

◎ゴルフ同好会 宮川会員

・8月には、毎年恒例の3クラブ合同例会があります。今回は銭函クラブが幹事ですので、詳細のご連絡がきたら、皆さんにご案内いたします。

ゴルフ同好会7月例会成績表

— 廣部会長林 —

優勝	加藤	4位	大黒屋	7位	岩 船
準優賞	塚野	5位	阿部	B.	B.見延
3位	米山	6位	赤田		(敬称略)



— 毎年のお願いで恐縮ですが、募金お願いいたします —

●ミス潮 眞田 夏奈衣 様

「潮祭りのアピールとご支援のお願いに伺いました。いよいよ潮祭りが近づいてまいりました。様々な催しで盛り上げていきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。」

●ミス潮 菅 真奈美 様

「ミス潮として小樽潮祭りに参加できることを光栄に感じております。これから募金にお願いに伺います。もれなく私たちのとびっきりの笑顔と握手がプレゼントされますので、どうぞご協力お願いいたします。」

●募金結果

皆様の募金とクラブからの支援金の合計が77,000円となりました。有難うございました。



時代物を楽しむための

ミニ知識

はちや
蜂谷 涼様



今日は、江戸時代の時代物（テレビや映画）を楽しむためのヒントをお話させていただきます。皆様はランチに井

物を頂くことも多いと思いますが、江戸時代、「井（物）」といえば、鰻丼を意味していました。1840（天保11）年頃には、既に「けんどん屋」と呼ばれる一膳飯屋で提供されていました。当時、天井もありました（鰻丼より天井が先にありました）、江戸っ子はよほど鰻が好きだったとみえて、井鰻丼でした。

江戸の町の構成といえば、人口は50〜55万人。そのうち7割が店や家を賃借していました。地主のほとんどは、その町に住んでおらず、地主の代理人となるのが、家主・家守・大家・（長屋などの）差配と呼ばれる人々でした。大家は、オーナーではなくオーナーの代理人を指します。江戸の町には、自身番屋と木戸番屋というものがありません。どちらも町人のための施設でしたが、自身番屋は、主に町の自治を守るため、木戸番屋は町の治安を守ることが目的でした。江戸の司法と警察については、混同されがちな与力と同心がありました。どちらも町奉行配下であるも

講師プロフィール

1961（昭和36）年、北海道生まれ。脚本家修業中に小説の道を見出す。1998年『煌浪の岸』で作家デビュー。2008年には『てけれどっぱ』が劇団文化座によって舞台化され、文化庁芸術祭賞（演劇部門）の大賞を受賞。主な著書に『雪えくぼ』『へび女房』『舞灯籠—京都上七軒幕末手控え—』修羅ゆく舟』などがある。

の、与力は裁判関係に携わり、現代の警察官に相当するのが江戸市中を巡回する同心です。時代劇でお馴染みの同心・岡っ引き・下っ引きですが、同心は、百石以下の下級武士ですが、付け届けがあり、割と楽な暮らしでした。同心には、一番格が高い「隠密廻り」「定廻り（町廻り）」、定廻りを補佐する「臨時廻り」の3種類があり、このうち、TVの時代物ドラマなどによく登場するのが、「定廻り」です。南町奉行所と北町奉行所を合わせて、隠密廻りが4名、定廻りが9名、臨時廻りが12名、つまり、たった25名で江戸を守らなければならなかったのです。そこで、配下として私的に岡っ引きを雇い、また、岡っ引きは子分として、下っ引きを使っておりました。幕末、南北奉行所配下の岡っ引きは約400名、下っ引きを加えると、1,500名〜1,600名がいました。

江戸時代は、究極のリサイクル社会でした。糞尿や紙くず、落ち髪は商売の貴重なタネになりました。高級リサイクルショップの献残屋（献上品の残りを売る店）もありました。また、現代のもので江戸時代にルーツがあるものもあります。ある品物を四文均一で売る四文屋というものがありませんか。現代の100円ショップの元祖ではないでしょうか。不倫の慰謝料も相場がきまっています。7両2分が相場でした。現在の約60万円だそうです。また、女性も活躍していました。町人なら振り売りや内職稼

ぎ、大商人の娘は武家の奥向きや大奥に奉公して、嫁入り前に箔をつけていました。武家の女も大奥に入ったり、代々女隠密だったりとか、リア組は少なくありませんでした。

女隠密（隠密とは忍者みたいなものでした）の大手柄について、お話いたしますと、1803（享和3）年春の延命院事件が有名です。將軍は第11代徳川家斉の時代です。谷中にある日蓮宗の延命院（現存する）で、「参詣に来た女性と僧侶が淫らな振る舞いに及んでいり。しかも、その女性たちのほとんどは、大奥の女中だ」との風聞が高まり、藩州龍野藩主で寺社奉行の脇坂安董が家臣の妹を奥女中として大奥に忍び込ませた上、延命院を内偵させました。その女隠密が探り当てた実情をふまえて、脇坂安董は自ら延命院に踏み込んで住持の日潤らを捕縛しましたが、日潤らと関係していた女性は実に59名、その中には大奥中臈の梅村や、梅村の部屋方で奥女中と僧侶たちの橋渡しをしたおころ、さらには紀州家の書院番頭の妻までいました。後に日潤は死罪、おころは百日押込の上、以後の武家奉公を禁じられることになりました。しかし、肝心の女隠密の消息は、その後全くわからないのです。一方、主君の脇坂安董は、西本願寺の教義をめぐる争いに名裁きを下して老中首座の松平信明から称賛されるなど、幕府での地位を揺るぎないものにしていきました。ところが、自身の妾のことでリークされ、1813（文化10）年には寺社奉行を辞任する羽目になります。…この妾というものが、消息不明とされていた女隠密であったら、と想像して執筆したのが、新刊『いとど遥けし』（柏艸舎 刊）です。絶賛発売中ですので、どうぞよろしくお願いたします。

皆様が歴史小説や時代物ドラマを楽しまれるときに、これらの話をヒントにして楽しんでいただきたいと思います。江戸時代の265年間で今日の土台がほぼ出来上がったと言っても過言ではなく、ことに激動の幕末は、小説のネタの宝庫なのです。

出席委員会

平成27年7月17日

会員総数 73名 本日の欠席者 12名
浅村、太田、角野、桂、湊、野村、盛、福井、坪井、前川、山村、村越

平成27年7月3日

会員総数 73名 出席摘要免除者 名

病欠者数 0名 ホーム欠席者数 11名
メーカーキャップ 5名 純欠席者数 6名
期末移動夜間例会につき91.43%

メーカーキャップ

6/30 大淵（小樽RC）
7/4 工藤、紺谷（情報広報まごころ箱委員会）
7/12 野村（地区）